

## 5.2 2次不等式の証明

変数  $x$  に関する不等式が次の何れかの形に整理できるとき、その不等式を  $x$  に関する 2 次不等式という：

$$ax^2 + bx + c < 0, \quad ax^2 + bx + c \leq 0, \quad ax^2 + bx + c > 0, \quad ax^2 + bx + c \geq 0;$$

ここで定数  $a, b, c$  は実数を表し  $a \neq 0$  . 2 次不等式の証明とは目標の 2 次不等式を導くことである.

(定理 1.5.10) 任意の実数  $a$  について  $a^2 \geq 0$  .

(定理 1.5.7) 任意の実数  $a, b, c$  について,  $a \geq b$  ならば  $a + c \geq b + c$  .

(定理 5.5.1) 任意の実数  $a, b, c$  について,  $a \geq b$  かつ  $b > c$  ならば,  $a > c$  .

(定理 1.5.10) 任意の実数  $a$  について  $a^2 \geq 0$  .

(定理 1.5.7) 任意の実数  $a, b, c$  について,  $a \geq b$  ならば  $a + c \geq b + c$  .

(定理 5.5.1) 任意の実数  $a, b, c$  について,  $a \geq b$  かつ  $b > c$  ならば,  $a > c$  .

**例** 次のことを示す : 任意の実数  $x$  について  $x^2 - 6x + 11 > 0$  .

(定理 1.5.10) 任意の実数  $a$  について  $a^2 \geq 0$  .

(定理 1.5.7) 任意の実数  $a, b, c$  について,  $a \geq b$  ならば  $a + c \geq b + c$  .

(定理 5.5.1) 任意の実数  $a, b, c$  について,  $a \geq b$  かつ  $b > c$  ならば,  $a > c$  .

**例** 次のことを示す : 任意の実数  $x$  について  $x^2 - 6x + 11 > 0$  . この不等式を導くために左辺の 2 次式を平方完成する.

$$x^2 - 6x + 11 = (x^2 - 2 \cdot 3x + 9) - 9 + 11 = (x - 3)^2 + 2 .$$

(定理 1.5.10) 任意の実数  $a$  について  $a^2 \geq 0$  .

(定理 1.5.7) 任意の実数  $a, b, c$  について,  $a \geq b$  ならば  $a + c \geq b + c$  .

(定理 5.5.1) 任意の実数  $a, b, c$  について,  $a \geq b$  かつ  $b > c$  ならば,  $a > c$  .

**例** 次のことを示す: 任意の実数  $x$  について  $x^2 - 6x + 11 > 0$  . この不等式を導くために左辺の 2 次式を平方完成する.

$$x^2 - 6x + 11 = (x^2 - 2 \cdot 3x + 9) - 9 + 11 = (x - 3)^2 + 2 .$$

任意の実数  $x$  について, 定理 1.5.10 により  $(x - 3)^2 \geq 0$  , 定理 1.5.7 により

$$(x - 3)^2 + 2 \geq 2 ,$$

(定理 1.5.10) 任意の実数  $a$  について  $a^2 \geq 0$  .

(定理 1.5.7) 任意の実数  $a, b, c$  について,  $a \geq b$  ならば  $a + c \geq b + c$  .

(定理 5.5.1) 任意の実数  $a, b, c$  について,  $a \geq b$  かつ  $b > c$  ならば,  $a > c$  .

**例** 次のことを示す : 任意の実数  $x$  について  $x^2 - 6x + 11 > 0$  . この不等式を導くために左辺の 2 次式を平方完成する.

$$x^2 - 6x + 11 = (x^2 - 2 \cdot 3x + 9) - 9 + 11 = (x - 3)^2 + 2 .$$

任意の実数  $x$  について, 定理 1.5.10 により  $(x - 3)^2 \geq 0$  , 定理 1.5.7 により

$$(x - 3)^2 + 2 \geq 2 ,$$

$2 > 0$  なので, 定理 5.1.1 により

$$(x - 3)^2 + 2 > 0 ,$$

(定理 1.5.10) 任意の実数  $a$  について  $a^2 \geq 0$  .

(定理 1.5.7) 任意の実数  $a, b, c$  について,  $a \geq b$  ならば  $a + c \geq b + c$  .

(定理 5.5.1) 任意の実数  $a, b, c$  について,  $a \geq b$  かつ  $b > c$  ならば,  $a > c$  .

**例** 次のことを示す : 任意の実数  $x$  について  $x^2 - 6x + 11 > 0$  . この不等式を導くために左辺の 2 次式を平方完成する.

$$x^2 - 6x + 11 = (x^2 - 2 \cdot 3x + 9) - 9 + 11 = (x - 3)^2 + 2 .$$

任意の実数  $x$  について, 定理 1.5.10 により  $(x - 3)^2 \geq 0$  , 定理 1.5.7 により

$$(x - 3)^2 + 2 \geq 2 ,$$

$2 > 0$  なので, 定理 5.1.1 により

$$(x - 3)^2 + 2 > 0 ,$$

$(x - 3)^2 + 2 = x^2 - 6x + 11$  なので

$$x^2 - 6x + 11 > 0 .$$

終

(法則 1.5.3) 任意の実数  $a, b, c$  について,  $a > b$  ならば  $a + c > b + c$  .

(法則 1.5.3) 任意の実数  $a, b, c$  について,  $a > b$  ならば  $a + c > b + c$  .

実数  $a$  と  $b$  について,  $a - b \geq 0$  ならば, 法則 1.5.3 により  
 $a - b + b \geq 0 + b$  つまり  $a \geq b$  .

(法則 1.5.3) 任意の実数  $a, b, c$  について,  $a > b$  ならば  $a + c > b + c$  .

実数  $a$  と  $b$  について,  $a - b \geq 0$  ならば, 法則 1.5.3 により  $a - b + b \geq 0 + b$  つまり  $a \geq b$  . 同様に,  $a - b > 0$  ならば  $a > b$  .

(法則 1.5.3) 任意の実数  $a, b, c$  について,  $a > b$  ならば  $a + c > b + c$  .

実数  $a$  と  $b$  について,  $a - b \geq 0$  ならば, 法則 1.5.3 により  $a - b + b \geq 0 + b$  つまり  $a \geq b$  . 同様に,  $a - b > 0$  ならば  $a > b$  . このように, 任意の実数  $a$  と  $b$  について次のようになる:

$$a - b \geq 0 \text{ ならば, } a \geq b, b \leq a ;$$

$$a - b > 0 \text{ ならば, } a > b, b < a .$$

(法則 1.5.3) 任意の実数  $a, b, c$  について,  $a > b$  ならば  $a + c > b + c$  .

実数  $a$  と  $b$  について,  $a - b \geq 0$  ならば, 法則 1.5.3 により  $a - b + b \geq 0 + b$  つまり  $a \geq b$  . 同様に,  $a - b > 0$  ならば  $a > b$  . このように, 任意の実数  $a$  と  $b$  について次のようになる:

$$a - b \geq 0 \text{ ならば, } a \geq b, b \leq a ;$$

$$a - b > 0 \text{ ならば, } a > b, b < a .$$

このことより次のことが分かる:

不等式  $A \geq B$  ,  $B \leq A$  を導くためには不等式  $A - B \geq 0$  を導けばよい;

不等式  $A > B$  ,  $B < A$  を導くためには不等式  $A - B > 0$  を導けばよい.

**例** 次のことを示す：任意の実数  $x$  について  $2x^2 + 14 > 12x - 5$  .

**例** 次のことを示す：任意の実数  $x$  について  $2x^2 + 14 > 12x - 5$  . 不等式  $2x^2 + 14 > 12x - 5$  を導くために不等式  $2x^2 + 14 - (12x - 5) > 0$  を導く；

**例** 次のことを示す：任意の実数  $x$  について  $2x^2 + 14 > 12x - 5$  . 不等式  $2x^2 + 14 > 12x - 5$  を導くために不等式  $2x^2 + 14 - (12x - 5) > 0$  を導く；そのために左辺の 2 次式  $2x^2 + 14 - (12x - 5)$  を平方完成する.

**例** 次のことを示す：任意の実数  $x$  について  $2x^2 + 14 > 12x - 5$  . 不等式  $2x^2 + 14 > 12x - 5$  を導くために不等式  $2x^2 + 14 - (12x - 5) > 0$  を導く；そのために左辺の 2 次式  $2x^2 + 14 - (12x - 5)$  を平方完成する.

$$2x^2 + 14 - (12x - 5) = 2x^2 - 12x + 19 = 2(x^2 - 6x) + 19$$

この式から始めること.

$$\begin{aligned} &= 2(x^2 - 6x + 3^2 - 9) + 19 = 2(x - 3)^2 - 18 + 19 \\ &= 2(x - 3)^2 + 1 . \end{aligned}$$

**例** 次のことを示す：任意の実数  $x$  について  $2x^2 + 14 > 12x - 5$  . 不等式  $2x^2 + 14 > 12x - 5$  を導くために不等式  $2x^2 + 14 - (12x - 5) > 0$  を導く；そのために左辺の 2 次式  $2x^2 + 14 - (12x - 5)$  を平方完成する.

$$\begin{aligned} 2x^2 + 14 - (12x - 5) &= 2x^2 - 12x + 19 = 2(x^2 - 6x) + 19 \\ &= 2(x^2 - 6x + 3^2 - 9) + 19 = 2(x - 3)^2 - 18 + 19 \\ &= 2(x - 3)^2 + 1 . \end{aligned}$$

任意の実数  $x$  について,  $(x - 3)^2 \geq 0$  なので  $2(x - 3)^2 \geq 0$  , よって  $2(x - 3)^2 + 1 \geq 1$  ; 更に  $1 > 0$  なので

$$2(x - 3)^2 + 1 > 0 ,$$

**例** 次のことを示す：任意の実数  $x$  について  $2x^2 + 14 > 12x - 5$  . 不等式  $2x^2 + 14 > 12x - 5$  を導くために不等式  $2x^2 + 14 - (12x - 5) > 0$  を導く；そのために左辺の 2 次式  $2x^2 + 14 - (12x - 5)$  を平方完成する.

$$\begin{aligned} 2x^2 + 14 - (12x - 5) &= 2x^2 - 12x + 19 = 2(x^2 - 6x) + 19 \\ &= 2(x^2 - 6x + 3^2 - 9) + 19 = 2(x - 3)^2 - 18 + 19 \\ &= 2(x - 3)^2 + 1 . \end{aligned}$$

任意の実数  $x$  について,  $(x - 3)^2 \geq 0$  なので  $2(x - 3)^2 \geq 0$  , よって  $2(x - 3)^2 + 1 \geq 1$  ; 更に  $1 > 0$  なので

$$2(x - 3)^2 + 1 > 0 ,$$

$2(x - 3)^2 + 1 = 2x^2 + 14 - (12x - 5)$  なので,

$$2x^2 + 14 - (12x - 5) > 0 ,$$

$$2x^2 + 14 > 12x - 5 .$$

**例** 次のことを示す：任意の実数  $x$  について  $2x^2 + 14 > 12x - 5$  . 不等式  $2x^2 + 14 > 12x - 5$  を導くために不等式  $2x^2 + 14 - (12x - 5) > 0$  を導く；そのために左辺の 2 次式  $2x^2 + 14 - (12x - 5)$  を平方完成する.

$$\begin{aligned} 2x^2 + 14 - (12x - 5) &= 2x^2 - 12x + 19 = 2(x^2 - 6x) + 19 \\ &= 2(x^2 - 6x + 3^2 - 9) + 19 = 2(x - 3)^2 - 18 + 19 \\ &= 2(x - 3)^2 + 1 . \end{aligned}$$

任意の実数  $x$  について,  $(x - 3)^2 \geq 0$  なので  $2(x - 3)^2 \geq 0$  , よって  $2(x - 3)^2 + 1 \geq 1$  ; 更に  $1 > 0$  なので

$$2(x - 3)^2 + 1 > 0 ,$$

$2(x - 3)^2 + 1 = 2x^2 + 14 - (12x - 5)$  なので,

$$2x^2 + 14 - (12x - 5) > 0 ,$$

$$2x^2 + 14 > 12x - 5 .$$

故に, 任意の実数  $x$  について  $2x^2 + 14 > 12x - 5$  .

終

**問5.2.1** 次のことを示せ：任意の実数  $x$  について  $5x^2 - 8x + 2 > 2x^2 - 5$  .

$$5x^2 - 8x + 2 - (2x^2 - 5) =$$

$$= \left(x - \frac{4}{3}\right)^2 + \frac{1}{3} .$$

任意の実数  $x$  について,  $\left(x - \frac{4}{3}\right)^2 \geq 0$  ,  $\left(\frac{1}{3}\right)^2 \geq 0$  なので,

$$\left(x - \frac{4}{3}\right)^2 + \frac{1}{3} \geq \frac{1}{3} > 0 ,$$

よって  $5x^2 - 8x + 2 - (2x^2 - 5) > 0$  なので,  $5x^2 - 8x + 2 > 2x^2 - 5$  .

**問5.2.1** 次のことを示せ：任意の実数  $x$  について  $5x^2 - 8x + 2 > 2x^2 - 5$  .

$$\begin{aligned} 5x^2 - 8x + 2 - (2x^2 - 5) &= 3x^2 - 8x + 7 = 3\left\{x^2 - \frac{8}{3}x + \left(\frac{4}{3}\right)^2\right\} - \frac{16}{3} + 7 \\ &= 3\left(x - \frac{4}{3}\right)^2 + \frac{5}{3} . \end{aligned}$$

任意の実数  $x$  について,  $\left(x - \frac{4}{3}\right)^2 \geq 0$  ,  $3\left(x - \frac{4}{3}\right)^2 \geq 0$  なので,

$$3\left(x - \frac{4}{3}\right)^2 + \frac{5}{3} \geq \frac{5}{3} > 0 ,$$

よって  $5x^2 - 8x + 2 - (2x^2 - 5) > 0$  なので,  $5x^2 - 8x + 2 > 2x^2 - 5$  .

**終**

2次式の平方完成によって次の定理が導かれる.

**定理 5.2** 定数  $a, b, c$  は実数で  $a \neq 0$  とする.

$a > 0$  かつ  $b^2 - 4ac < 0$  ならば, 任意の実数  $x$  について  $ax^2 + bx + c > 0$ .

$a < 0$  かつ  $b^2 - 4ac < 0$  ならば, 任意の実数  $x$  について  $ax^2 + bx + c < 0$ .

**証明** “  $a > 0$  かつ  $b^2 - 4ac < 0$  ならば, 任意の実数  $x$  について  $ax^2 + bx + c > 0$  ” であることを証明する.

$a > 0$  かつ  $b^2 - 4ac < 0$  と仮定する.  $x$  の 2 次式  $ax^2 + bx + c$  を平方完成する:

$$\begin{aligned} ax^2 + bx + c &= a\left(x^2 + \frac{b}{a}x\right) + c = a\left\{x^2 + 2\frac{b}{2a}x + \left(\frac{b}{2a}\right)^2 - \left(\frac{b}{2a}\right)^2\right\} + c \\ &= a\left\{\left(x + \frac{b}{2a}\right)^2 - \frac{b^2}{4a^2}\right\} + c = a\left(x + \frac{b}{2a}\right)^2 - \frac{b^2}{4a} + c \\ &= a\left(x + \frac{b}{2a}\right)^2 - \frac{b^2 - 4ac}{4a}. \end{aligned}$$

$$ax^2 + bx + c = a\left(x + \frac{b}{2a}\right)^2 - \frac{b^2 - 4ac}{4a}.$$

$x$  を任意の実数とする.  $\left(x + \frac{b}{2a}\right)^2 \geq 0$  なので, 仮定  $a > 0$  より

$$a\left(x + \frac{b}{2a}\right)^2 \geq 0, \text{ よって}$$

$$a\left(x + \frac{b}{2a}\right)^2 - \frac{b^2 - 4ac}{4a} \geq -\frac{b^2 - 4ac}{4a}.$$

仮定  $a > 0$  かつ  $b^2 - 4ac < 0$  より  $\frac{b^2 - 4ac}{4a} < 0$ , よって  $-\frac{b^2 - 4ac}{4a} > 0$  なので,

$$a\left(x + \frac{b}{2a}\right)^2 - \frac{b^2 - 4ac}{4a} > 0.$$

故に, 任意の実数  $x$  について  $ax^2 + bx + c > 0$ .

(証明終了)

不等式  $A \geq B$  を証明したとき, 等号が成り立つ (つまり  $A = B$  となる) 条件を調べることがある.

**例** 任意の実数  $y$  について  $3y^2 - 7y + 8 \geq 5y - 4$  であることを示し, 等号が成り立つ (つまり  $3y^2 - 7y + 8 = 5y - 4$  となる) 条件を調べる.

**例** 任意の実数  $y$  について  $3y^2 - 7y + 8 \geq 5y - 4$  であることを示し, 等号が成り立つ (つまり  $3y^2 - 7y + 8 = 5y - 4$  となる) 条件を調べる. 不等式  $3y^2 - 7y + 8 \geq 5y - 4$  を導くために不等式  $3y^2 - 7y + 8 - (5y - 4) \geq 0$  を導く;

**例** 任意の実数  $y$  について  $3y^2 - 7y + 8 \geq 5y - 4$  であることを示し, 等号が成り立つ (つまり  $3y^2 - 7y + 8 = 5y - 4$  となる) 条件を調べる. 不等式  $3y^2 - 7y + 8 \geq 5y - 4$  を導くために不等式  $3y^2 - 7y + 8 - (5y - 4) \geq 0$  を導く; そのために左辺の 2 次式  $3y^2 - 7y + 8 - (5y - 4)$  を平方完成する.

**例** 任意の実数  $y$  について  $3y^2 - 7y + 8 \geq 5y - 4$  であることを示し, 等号が成り立つ (つまり  $3y^2 - 7y + 8 = 5y - 4$  となる) 条件を調べる. 不等式  $3y^2 - 7y + 8 \geq 5y - 4$  を導くために不等式  $3y^2 - 7y + 8 - (5y - 4) \geq 0$  を導く; そのために左辺の 2 次式  $3y^2 - 7y + 8 - (5y - 4)$  を平方完成する.

$$\begin{aligned} 3y^2 - 7y + 8 - (5y - 4) &= 3y^2 - 12y + 12 = 3(y^2 - 4y) + 12 \\ &= 3(y^2 - 4y + 2^2 - 4) + 12 = 3(y - 2)^2 - 12 + 12 \\ &= 3(y - 2)^2 . \end{aligned}$$

**例** 任意の実数  $y$  について  $3y^2 - 7y + 8 \geq 5y - 4$  であることを示し、等号が成り立つ（つまり  $3y^2 - 7y + 8 = 5y - 4$  となる）条件を調べる．不等式  $3y^2 - 7y + 8 \geq 5y - 4$  を導くために不等式  $3y^2 - 7y + 8 - (5y - 4) \geq 0$  を導く；そのために左辺の 2 次式  $3y^2 - 7y + 8 - (5y - 4)$  を平方完成する．

$$\begin{aligned} 3y^2 - 7y + 8 - (5y - 4) &= 3y^2 - 12y + 12 = 3(y^2 - 4y) + 12 \\ &= 3(y^2 - 4y + 2^2 - 4) + 12 = 3(y - 2)^2 - 12 + 12 \\ &= 3(y - 2)^2 . \end{aligned}$$

任意の実数  $y$  について、 $3(y - 2)^2 \geq 0$  なので

$$3y^2 - 7y + 8 - (5y - 4) \geq 0 ,$$

よって  $3y^2 - 7y + 8 \geq 5y - 4$  .

**例** 任意の実数  $y$  について  $3y^2 - 7y + 8 \geq 5y - 4$  であることを示し、等号が成り立つ（つまり  $3y^2 - 7y + 8 = 5y - 4$  となる）条件を調べる。不等式  $3y^2 - 7y + 8 \geq 5y - 4$  を導くために不等式  $3y^2 - 7y + 8 - (5y - 4) \geq 0$  を導く；そのために左辺の 2 次式  $3y^2 - 7y + 8 - (5y - 4)$  を平方完成する。

$$\begin{aligned} 3y^2 - 7y + 8 - (5y - 4) &= 3y^2 - 12y + 12 = 3(y^2 - 4y) + 12 \\ &= 3(y^2 - 4y + 2^2 - 4) + 12 = 3(y - 2)^2 - 12 + 12 \\ &= 3(y - 2)^2 . \end{aligned}$$

任意の実数  $y$  について、 $3(y - 2)^2 \geq 0$  なので

$$3y^2 - 7y + 8 - (5y - 4) \geq 0 ,$$

よって  $3y^2 - 7y + 8 \geq 5y - 4$  .

等号が成り立つ条件は、 $3y^2 - 7y + 8 = 5y - 4$  ,  $3y^2 - 7y + 8 - (5y - 4) = 0$  ,  $3(y - 2)^2 = 0$  ,  $y - 2 = 0$  ,  $y = 2$  . 故に  $y = 2$  のときに限り  $3y^2 - 7y + 8 = 5y - 4$  .



**問5.2.2** 任意の実数  $t$  について  $\frac{3}{4}t^2 + t + 2 \geq \frac{1}{2}t^2 - 2t - 7$  となることを示し、  
 等号が成り立つ条件を調べよ。

$$\begin{aligned} \frac{3}{4}t^2 + t + 2 - \left(\frac{1}{2}t^2 - 2t - 7\right) &= \frac{1}{4}t^2 + 3t + 9 = \frac{1}{4}(t^2 + 12t + 36) - 9 + 9 \\ &= \frac{1}{4}(t+6)^2 . \end{aligned}$$

任意の実数  $x$  について、 $(t+6)^2 \geq 0$  ,  $\frac{1}{4}(t+6)^2 \geq 0$  なので、

$$\frac{3}{4}t^2 + t + 2 - \left(\frac{1}{2}t^2 - 2t - 7\right) \geq 0 ,$$

よって  $\frac{3}{4}t^2 + t + 2 \geq \frac{1}{2}t^2 - 2t - 7$  .

等号が成り立つ条件は、 $\frac{3}{4}t^2 + t + 2 = \frac{1}{2}t^2 - 2t - 7$  ,  $-$  (   
 $) = 0$  ,  $= 0$  ,  $= 0$  ,  $t =$  . 故に  $t =$  のときに限

り  $\frac{3}{4}t^2 + t + 2 = \frac{1}{2}t^2 - 2t - 7$  .

**問5.2.2** 任意の実数  $t$  について  $\frac{3}{4}t^2 + t + 2 \geq \frac{1}{2}t^2 - 2t - 7$  となることを示し、  
等号が成り立つ条件を調べよ。

$$\begin{aligned}\frac{3}{4}t^2 + t + 2 - \left(\frac{1}{2}t^2 - 2t - 7\right) &= \frac{1}{4}t^2 + 3t + 9 = \frac{1}{4}(t^2 + 12t + 36) - 9 + 9 \\ &= \frac{1}{4}(t+6)^2 .\end{aligned}$$

任意の実数  $x$  について、 $(t+6)^2 \geq 0$  ,  $\frac{1}{4}(t+6)^2 \geq 0$  なので、

$$\frac{3}{4}t^2 + t + 2 - \left(\frac{1}{2}t^2 - 2t - 7\right) \geq 0 ,$$

よって  $\frac{3}{4}t^2 + t + 2 \geq \frac{1}{2}t^2 - 2t - 7$  .

等号が成り立つ条件は、 $\frac{3}{4}t^2 + t + 2 = \frac{1}{2}t^2 - 2t - 7$  ,  $\frac{3}{4}t^2 + t + 2 - \left(\frac{1}{2}t^2 - 2t - 7\right) = 0$  ,  $\frac{1}{4}(t+6)^2 = 0$  ,  $t+6 = 0$  ,  $t = -6$  . 故に  $t = -6$  のときに限り  $\frac{3}{4}t^2 + t + 2 = \frac{1}{2}t^2 - 2t - 7$  .

終

例 次のことを示せ： $3x^2 + 5 \leq 7x$  である実数  $x$  は無い.

**例** 次のことを示せ： $3x^2 + 5 \leq 7x$  である実数  $x$  は無い．“任意の実数  $x$  について  $3x^2 + 5 > 7x$ ” ならば，“任意の実数  $x$  について  $3x^2 + 5 \not\leq 7x$ ” なので，“ $3x^2 + 5 \leq 7x$  である実数  $x$  は無い”．

**例** 次のことを示せ： $3x^2 + 5 \leq 7x$  である実数  $x$  は無い。“任意の実数  $x$  について  $3x^2 + 5 > 7x$ ” ならば，“任意の実数  $x$  について  $3x^2 + 5 \not\leq 7x$ ” なので，“ $3x^2 + 5 \leq 7x$  である実数  $x$  は無い”。

$$\begin{aligned} 3x^2 + 5 - 7x &= 3\left(x^2 - \frac{7}{3}x\right) + 5 = 3\left\{x^2 - 2 \cdot \frac{7}{6}x + \left(\frac{7}{6}\right)^2\right\} - \frac{49}{12} + 5 \\ &= 3\left(x - \frac{7}{6}\right)^2 + \frac{11}{12} . \end{aligned}$$

**例** 次のことを示せ： $3x^2 + 5 \leq 7x$  である実数  $x$  は無い。“任意の実数  $x$  について  $3x^2 + 5 > 7x$ ” ならば，“任意の実数  $x$  について  $3x^2 + 5 \not\leq 7x$ ” なので，“ $3x^2 + 5 \leq 7x$  である実数  $x$  は無い”。

$$\begin{aligned} 3x^2 + 5 - 7x &= 3\left(x^2 - \frac{7}{3}x\right) + 5 = 3\left\{x^2 - 2 \cdot \frac{7}{6}x + \left(\frac{7}{6}\right)^2\right\} - \frac{49}{12} + 5 \\ &= 3\left(x - \frac{7}{6}\right)^2 + \frac{11}{12}. \end{aligned}$$

任意の実数  $x$  について， $\left(x - \frac{7}{6}\right)^2 \geq 0$  なので， $3\left(x - \frac{7}{6}\right)^2 + \frac{11}{12} \geq \frac{11}{12} > 0$ ，  
 $3x^2 + 5 - 7x > 0$ ，よって  $3x^2 + 5 > 7x$ 。

**例** 次のことを示せ： $3x^2 + 5 \leq 7x$  である実数  $x$  は無い。“任意の実数  $x$  について  $3x^2 + 5 > 7x$ ” ならば，“任意の実数  $x$  について  $3x^2 + 5 \not\leq 7x$ ” なので，“ $3x^2 + 5 \leq 7x$  である実数  $x$  は無い”。

$$\begin{aligned} 3x^2 + 5 - 7x &= 3\left(x^2 - \frac{7}{3}x\right) + 5 = 3\left\{x^2 - 2 \cdot \frac{7}{6}x + \left(\frac{7}{6}\right)^2\right\} - \frac{49}{12} + 5 \\ &= 3\left(x - \frac{7}{6}\right)^2 + \frac{11}{12}. \end{aligned}$$

任意の実数  $x$  について， $\left(x - \frac{7}{6}\right)^2 \geq 0$  なので， $3\left(x - \frac{7}{6}\right)^2 + \frac{11}{12} \geq \frac{11}{12} > 0$ ， $3x^2 + 5 - 7x > 0$ ，よって  $3x^2 + 5 > 7x$ 。故に  $3x^2 + 5 \leq 7x$  である実数  $x$  は無い。

**終**

**問5.2.3** 次のことを示せ： $3x^2 + 4 \leq 5x$  である実数  $x$  は無い。

$$3x^2 + 4 - 5x =$$

任意の実数  $x$  について、 $\left( \quad \right)^2 \geq 0$  なので、 $\quad \geq \quad > 0$  ,  
 $> 0$  , よって  $3x^2 + 4 > 5x$  . 故に  $3x^2 + 4 \geq 5x$  である実数  $x$   
は無い. 終

**問5.2.3** 次のことを示せ： $3x^2 + 4 \leq 5x$  である実数  $x$  は無い。

$$\begin{aligned} 3x^2 + 4 - 5x &= 3\left(x^2 - \frac{5}{3}x\right) + 4 = 3\left\{x^2 - 2 \cdot \frac{5}{6}x + \left(\frac{5}{6}\right)^2\right\} - \frac{25}{12} + 4 \\ &= 3\left(x - \frac{5}{6}\right)^2 + \frac{11}{12} . \end{aligned}$$

任意の実数  $x$  について、 $\left(x - \frac{5}{6}\right)^2 \geq 0$  なので、 $3\left(x - \frac{5}{6}\right)^2 + \frac{11}{12} \geq \frac{11}{12} > 0$  ,  
 $3x^2 + 4 - 5x > 0$  , よって  $3x^2 + 4 > 5x$  . 故に  $3x^2 + 4 \geq 5x$  である実数  $x$   
は無い. 終

2個の変数が現れる不等式を考える.

**例** 次のことを示す：任意の実数  $x$  と  $y$  について  $2x^2 + 3y^2 > 3x + 5y - 4$  .

**例** 次のことを示す：任意の実数  $x$  と  $y$  について  $2x^2 + 3y^2 > 3x + 5y - 4$  .  
 $2x^2 + 3y^2 - (3x + 5y - 4)$  を  $x$  および  $y$  について平方完成する.

**例** 次のことを示す：任意の実数  $x$  と  $y$  について  $2x^2 + 3y^2 > 3x + 5y - 4$  .

$2x^2 + 3y^2 - (3x + 5y - 4)$  を  $x$  および  $y$  について平方完成する.

$$\begin{aligned} 2x^2 + 3y^2 - (3x + 5y - 4) &= 2x^2 - 3x + 3y^2 - 5y + 4 \\ &= 2\left(x^2 - \frac{3}{2}x\right) + 3\left(y^2 - \frac{5}{3}y\right) + 4 \\ &= 2\left\{x^2 - 2 \cdot \frac{3}{4}x + \left(\frac{3}{4}\right)^2 - \frac{3^2}{4^2}\right\} + 3\left\{y^2 - 2 \cdot \frac{5}{6}y + \left(\frac{5}{6}\right)^2 - \frac{5^2}{6^2}\right\} + 4 \\ &= 2\left\{x^2 - 2 \cdot \frac{3}{4}x + \left(\frac{3}{4}\right)^2\right\} - \frac{9}{4} + 3\left\{y^2 - 2 \cdot \frac{5}{6}y + \left(\frac{5}{6}\right)^2\right\} - \frac{25}{4} + 4 \\ &= 2\left(x - \frac{3}{4}\right)^2 + 3\left(y - \frac{5}{6}\right)^2 + \frac{19}{4} . \end{aligned}$$

**例** 次のことを示す：任意の実数  $x$  と  $y$  について  $2x^2 + 3y^2 > 3x + 5y - 4$  .

$2x^2 + 3y^2 - (3x + 5y - 4)$  を  $x$  および  $y$  について平方完成する.

$$\begin{aligned} 2x^2 + 3y^2 - (3x + 5y - 4) &= 2x^2 - 3x + 3y^2 - 5y + 4 \\ &= 2\left(x^2 - \frac{3}{2}x\right) + 3\left(y^2 - \frac{5}{3}y\right) + 4 \\ &= 2\left\{x^2 - 2 \cdot \frac{3}{4}x + \left(\frac{3}{4}\right)^2 - \frac{3^2}{4^2}\right\} + 3\left\{y^2 - 2 \cdot \frac{5}{6}y + \left(\frac{5}{6}\right)^2 - \frac{5^2}{6^2}\right\} + 4 \\ &= 2\left\{x^2 - 2 \cdot \frac{3}{4}x + \left(\frac{3}{4}\right)^2\right\} - \frac{9}{4} + 3\left\{y^2 - 2 \cdot \frac{5}{6}y + \left(\frac{5}{6}\right)^2\right\} - \frac{25}{4} + 4 \\ &= 2\left(x - \frac{3}{4}\right)^2 + 3\left(y - \frac{5}{6}\right)^2 + \frac{19}{4} . \end{aligned}$$

任意の実数  $x$  と  $y$  について,  $\left(x - \frac{3}{4}\right)^2 \geq 0$  かつ  $\left(y - \frac{5}{6}\right)^2 \geq 0$  なので,

$$2\left(x - \frac{3}{4}\right)^2 + 3\left(y - \frac{5}{6}\right)^2 + \frac{19}{4} \geq \frac{19}{4} > 0 ,$$

**例** 次のことを示す：任意の実数  $x$  と  $y$  について  $2x^2 + 3y^2 > 3x + 5y - 4$  .

$2x^2 + 3y^2 - (3x + 5y - 4)$  を  $x$  および  $y$  について平方完成する.

$$\begin{aligned} 2x^2 + 3y^2 - (3x + 5y - 4) &= 2x^2 - 3x + 3y^2 - 5y + 4 \\ &= 2\left(x^2 - \frac{3}{2}x\right) + 3\left(y^2 - \frac{5}{3}y\right) + 4 \\ &= 2\left\{x^2 - 2 \cdot \frac{3}{4}x + \left(\frac{3}{4}\right)^2 - \frac{3^2}{4^2}\right\} + 3\left\{y^2 - 2 \cdot \frac{5}{6}y + \left(\frac{5}{6}\right)^2 - \frac{5^2}{6^2}\right\} + 4 \\ &= 2\left\{x^2 - 2 \cdot \frac{3}{4}x + \left(\frac{3}{4}\right)^2\right\} - \frac{9}{8} + 3\left\{y^2 - 2 \cdot \frac{5}{6}y + \left(\frac{5}{6}\right)^2\right\} - \frac{25}{12} + 4 \\ &= 2\left(x - \frac{3}{4}\right)^2 + 3\left(y - \frac{5}{6}\right)^2 + \frac{19}{24} . \end{aligned}$$

任意の実数  $x$  と  $y$  について、 $\left(x - \frac{3}{4}\right)^2 \geq 0$  かつ  $\left(y - \frac{5}{6}\right)^2 \geq 0$  なので、

$$2\left(x - \frac{3}{4}\right)^2 + 3\left(y - \frac{5}{6}\right)^2 + \frac{19}{24} \geq \frac{19}{24} > 0 ,$$

よって  $2x^2 + 3y^2 - (3x + 5y - 4) > 0$  なので、 $2x^2 + 3y^2 > 3x + 5y - 4$  .

**終**

**問5.2.4** 次のことを示せ：任意の実数  $x, y$  について  $3x^2 + 4y^2 > 5x - 3y - 3$  .

$$3x^2 + 4y^2 - (5x - 3y - 3) =$$

$$= \left(x - \frac{5}{6}\right)^2 + \left(y + \frac{3}{4}\right)^2 +$$

任意の実数  $x, y$  について,  $\left(x - \frac{5}{6}\right)^2 \geq 0$  かつ  $\left(y + \frac{3}{4}\right)^2 \geq 0$  なので,

$$\left(x - \frac{5}{6}\right)^2 + \left(y + \frac{3}{4}\right)^2 + \frac{1}{2} \geq \frac{1}{2} > 0 ,$$

よって  $3x^2 + 4y^2 - (5x - 3y - 3) > 0$  なので,  $3x^2 + 4y^2 > 5x - 3y - 3$  .

**問5.2.4** 次のことを示せ：任意の実数  $x, y$  について  $3x^2 + 4y^2 > 5x - 3y - 3$  .

$$\begin{aligned} & 3x^2 + 4y^2 - (5x - 3y - 3) = 3x^2 - 5x + 4y^2 + 3y + 3 \\ & = 3\left(x^2 - \frac{5}{3}x\right) + 4\left(y^2 + \frac{3}{4}y\right) + 3 \\ & = 3\left\{x^2 - 2 \cdot \frac{5}{6}x + \left(\frac{5}{6}\right)^2 - \frac{5^2}{6^2}\right\} + 4\left\{y^2 + 2 \cdot \frac{3}{8}y + \left(\frac{3}{8}\right)^2 - \frac{3^2}{8^2}\right\} + 3 \\ & = 3\left\{x^2 - 2 \cdot \frac{5}{6}x + \left(\frac{5}{6}\right)^2\right\} - \frac{25}{12} + 4\left\{y^2 + 2 \cdot \frac{3}{8}y + \left(\frac{3}{8}\right)^2\right\} - \frac{9}{16} + 3 \\ & = 3\left(x - \frac{5}{6}\right)^2 + 4\left(y + \frac{3}{8}\right)^2 + \frac{17}{48} . \end{aligned}$$

任意の実数  $x, y$  について,  $\left(x - \frac{5}{6}\right)^2 \geq 0$  かつ  $\left(y + \frac{3}{8}\right)^2 \geq 0$  なので,

$$3\left(x - \frac{5}{6}\right)^2 + 4\left(y + \frac{3}{8}\right)^2 + \frac{17}{48} \geq \frac{17}{48} > 0 ,$$

よって  $3x^2 + 4y^2 - (5x - 3y - 3) > 0$  なので,  $3x^2 + 4y^2 > 5x + 3y - 3$  .

**終**